

あらぶんちよ散歩

vol.098

こうじ まち さん ちょう め

麴町三丁目

江戸城からほど近く、旗本の武家屋敷も多かった麴町。現在はビルが立ち並ぶオフィス街ですが、新宿通り(甲州街道)沿いにはさまざまな商店が並び、江戸の高級商店街のひとつとして、「麴町に行けばなんでも揃う」と言われていたそうです。

千代田区

「あさ乃」の2階に保管されている猿の人形は、麴町三丁目の神輿の上に飾られるものとか。山王祭では、猿は日枝大神のつかいとして尊重されている



今月のエリアウォーク

3690歩

オフィス街だがお店も多く散策しがいがある



甲斐犬の像
オフィスビル前に突如現れる、矢崎商會株式会社の社長による、郷土愛あふれる銅像

うなぎ秋本
明治42年創業の老舗の名店。ミシュランの一つ星に輝いたこともあるそう

善国寺坂
この標識の右斜め前にあった善国寺に由来。寛政10年の火事により焼失し、牛込神楽坂に移転

麴町四丁目
江戸切絵図の版元として名高い尾張屋があったことなど、麴町の歴史が記されている看板

ヒシダポタン店
大正10年創業のポタン専門店。貝ボタンの品揃えは日本一とか!猫のオリジナルポタンは1,080円〜



1 泉屋東京店 麴町本店

〒千代田区麴町3-1
☎03-3261-5541
☎9:00~19:00
(土~17:30)
休日・祝



2 Cafe NONINO

〒千代田区麴町3-5-5
サンデンビルB1F
☎03-6380-8776
☎8:00~21:00
(土祝11:00~17:00)
休日



3 ソラノイロ salt&mushroom

〒千代田区麴町3-4-3
☎03-6272-6886
☎11:00~15:00LO
18:00~22:20LO
休日・日



4 あさ乃

〒千代田区麴町3-7-10
☎03-3263-5161
☎11:30~13:30LO
月~金17:00~21:00LO
(※土の夜は予約のみ営業)
休日・祝



5 たまな食堂 麴町店

〒千代田区麴町3-4-1
☎03-6380-9668
☎11:00~14:00LO
17:30~21:00LO
休日・日・祝

立巳物産株式会社

代表 矢野 誠州さん



MOTTAINAIを世界の合い言葉に、さらなる商品展開を目指します

今年11年目を迎えるMOTTAINAIキャンペーンは、環境分野でノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんが、日本に來日した際に感銘を受けた「もったいない」という日本語からはじまりました。環境の3R、Reduce(ゴミの削減)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)、さらに地球環境に対するRespect(尊敬の念)が込められたこの言葉を、世界共通語「MOTTAINAI」として広めようと活動を展開。収益の一部をケニアの植林活動に寄付し、現在5100万本ほどの苗木になっています。当社はもと

もとプロモーショングッズを作る会社で、企業向けエコバッグを作っていたところこの活動を知り、ぜひ当社でもグッズを!と2005年から参画させていただいています。エコバッグや再生紙のノート、エコボトル、リサイクル石けんなどを作り、ネットショップと合わせて麴町の自社の1階で販売するところからはじまり、2009年に竹橋にアンテナショップを開業し、今では扱う商品も100を超えました。今後はさらに、男性向け商品や、海外に向けて発信している商品などを増やしていきたいですね。



↑マイボトル1,409円、リサイクル陶土のマグカップ810円。商品はネットショップでも購入可能



↑竹橋にできたアンテナショップではさまざまなアイテムを取り扱っている

MOTTAINAI STATION&Shop
〒千代田区一ツ橋1-1-1/レスサイドビル1F ☎03-3214-2760
☎11:00~18:00 休日・祝・第2~4土 <http://mottainai.info>

1 泉屋東京店 麴町本店

創業以来変わらぬおいしさ クラシックなクッキー

日本で初めてクッキーの販売を行った老舗洋菓子店。創業者夫妻が宣教師から教わり、試作を重ねてたり着いた味は、古き良きホームメイドのおいしさ。クッキーは缶入りのほか、袋詰めタイプや単品タイプもあり。



↑缶入りのスペシャルクッキーは1,080円。こちらは1,728円
→スタッフの紅林由希さん、伊東良介さん



2 Cafe NONINO

エイジングコーヒーが 味わえる隠れ家喫茶

「フレッシュな珈琲豆はその個性が出るが、寝かせることで違う深さが出てくる。ワインやお酒と似てますね」と上野さん。ネルドリップで淹れるエイジングコーヒーの深くまろやかな味わいをぜひご賞味あれ。



↑ノンブレンド 520円、ガトーショコラ450円



→4種ほどある自家製ケーキも店主・上野拓美さんの手作り



3 ソラノイロsalt&mushroom

基軸は塩とマッシュルーム 新感覚ラーメンが味わえる

塩味のラーメンと、スープも麺も具もキノコなスープパスタのような「キノコベジ」を柱に2年前にオープン。豚の旨みが効いたダシに生クリームやマッシュルーム、玉ねぎなどをピューレ状にして加えたキノコベジのスープは滋味深く濃厚。最後にご飯にかけてリゾットにするのもおすすめとか。



↑特製キノコベジソバ 1,000円
→店長の榎本哲也さん



4 あさ乃

永田町にもファンが多い 明治41年創業の割烹料理屋

官公庁や企業への仕出し弁当でも知られるお店。お昼は日替わりの刺身定食のほか、重箱に入った松花堂弁当や幕の内弁当などが味わえる。メカジキの照り焼きや煮物、あさりの佃煮など、ひとつひとつのおかずの味がびたりと決まっており、老舗の風格を感じる仕事が光る。2階にはお座敷の個室もあり。



↑幕の内弁当(梅) 980円。お昼のお弁当は830円〜
→「魚は毎日築地で仕入れています」と四代目の浅野賢一さん



5 たまな食堂 麴町店

発酵食と玄米菜食の 健康レストラン

青山にある玄米菜食と発酵食の人気店「たまな食堂」の麴町店。季節野菜のバーニャカウダ、ベジブロスのお味噌汁、自家製の納豆など、季節の野菜と発酵食がたっぷりいただける「たまな定食」は、この1食で1日に必要な栄養が取れるバランス栄養食。大豆ミートを使った「たまなカレー」も人気が高い。



↑たまな定食1,000円。お昼も夜もいただける



麴町は150年前から地図のまち! 三丁目には地図の会社・昭文社が

江戸随一の繁華街だった麴町。複雑な番町を案内するニーズから生まれたといわれる「江戸切絵図」の販売・制作の中心地でもあったそう。麴町六丁目(現在の四丁目付近)にあった「尾張屋」が工夫を凝らして改良し、大ベストセラー商品となりました。江戸から続く地図のまちに、「MAPPLE」でおなじみの昭文社があるなんて、縁を感じます。



↑「外柵田永田町絵図」国立国会図書館蔵、岩橋美術復刻版より転載

麴町三丁目で見つけた! お土産セレクト

手土産やバレンタインにおすすめ! 島田シェフのショコラ&ケーキ
三丁目には、クレームアンジュ、クレームブリュレ、石畳(生チョコ)など数々のフランス菓子を世に送り出した、日本フランス菓子界の重鎮、島田進シェフのお店が2店舗あります。お土産に、バレンタインの贈り物にいかがでしょう。

→(左から)元祖クレームアンジュ 594円、タルトフレーズ675円、ル・ショコラ・アメール648円

←グランマルニエドリュフ(8ヶ入り)2,160円、東京の石畳(9ヶ入り)1,296円

パティシエ・シマ
〒千代田区麴町3-12-4
☎03-3239-1031
☎10:00~19:00
(土・祝~17:00)
休日



ラトリエ・ドゥ・シマ
〒千代田区麴町3-12-3
☎03-3239-1530
☎10:00~19:00
(土・祝~17:00)
休日

